

第0回 マイクロコンピュータ応用 -導入-

0.1 はじめに

前学期ではアセンブリプログラミングにより Z80 マイコンを制御する基礎的な技術を学びました。本学期では、その身につけた技術を用い、スイッチ、LED、ステッピングモータなどを制御することで、マイコンによる制御やプログラミングの考え方を学び身につけることを目標とします。

また、本実験では前学期の知識を基本としているので、前学期に用いたテキストを持参するとよいでしょう。

0.2 レポートの書き方

レポートの章立ては次のようにすると良いでしょう。

- 目的

実験の目的を書く

- 手法

実験で用いた器具、手法、手順などを書く。

- 結果

実験内容とともに実験の結果を書く。本実験の結果では主にプログラムソースを書く。ソースを書く場合は、機械語、アセンブリコード、コメントを書く。

- 考察

考察課題や、実験で気づいたこと、分かったことなどを書く。

補足: レポートは、左上の角をホッチキスでとめて下さい。

0.3 マイコントレーナの使いかた

本実験では、マイコントレーナ MT-Z を用います (図 1)。MT-Z は 8 ビットマイクロプロセッサ Z-80 を搭載しています。レジスタには 8 ビットデータを記憶することができます。